

オプロ、Salesforce AppExchange 上で「Peppol Connector by OPRO」を発表
オプロのお客様は Salesforce 上の請求データを
Peppol 経由でデジタルインボイスとして送信可能に



新製品

Salesforce連携デジタルインボイス送信サービス

Peppol Connector by OPRO

- ✓ 自社（売り手）および顧客（買い手）情報の登録・管理
- ✓ JP PINT対応の請求データオブジェクト群とマッピング設定
- ✓ 既存請求データをJP PINT形式に一括変換
- ✓ Peppolルール準拠の検証機能と送信履歴管理
- ✓ Peppol IDの照合および発行支援
- ✓ Salesforce上で完結するUIによる非同期変換処理

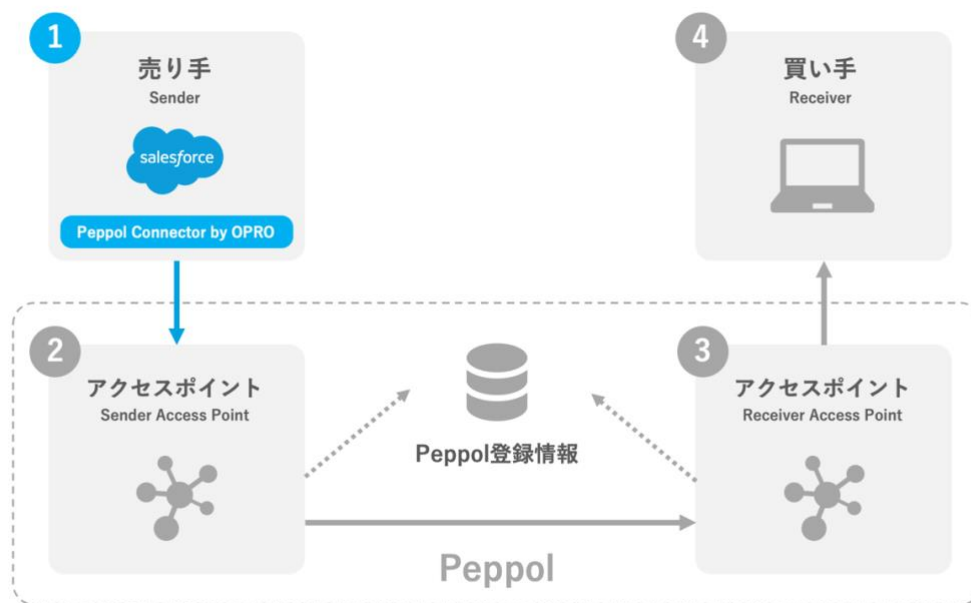




株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見一典、以下「オプロ」）は本日、パートナーアプリと専門家向けの主要なエンタープライズマーケットプレイス Salesforce AppExchange 上で Salesforce 連携デジタルインボイス送信サービス「Peppol Connector by OPRO」を発表しました。これにより、お客様が Salesforce に保存された請求データを、国際標準のデジタルインボイス仕様である Peppol ネットワークを通じて安全かつ効率的に送信できるよう支援します。「Peppol Connector by OPRO」は、日本のデジタルインボイス標準仕様である JP PINT に準拠し、既存の Salesforce 請求データを一括で変換・送信できるアプリケーションです。

Salesforce と直接連携された「Peppol Connector by OPRO」は、現在 AppExchange の <https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=35ae774d-0de0-4ccb-80ee-f969560d0e30> から入手いただけます。

「Peppol Connector by OPRO」



「Peppol Connector by OPRO」は、Salesforce 上に保存された請求データを、日本のデジタルインボイス標準仕様である JP PINT に準拠した形式に変換し、Peppol ネットワークを通じてデジタルインボイスとして送信できるアプリケーションです。Peppol の 4 コーナーモデルにおける C1（売り手）に相当する送信側機能を提供します。

Peppol ID を未取得の企業でも、法人番号や適格請求書発行事業者番号を基に ID 発行を支援するため、デジタルインボイスへの移行をスムーズに開始できます。ファーストアカウンティング社の提供する Peppol アクセスポイント API を介して Peppol ネットワークに接続し、Salesforce 上から安全かつ確実に請求データを送信できます。

開発背景

国内外の取引が多様化する中、請求書の発行・送付業務ではフォーマットの違いや手作業による転記ミス、処理遅延といった課題が依然として残っています。また、国際標準の電子請求書ネットワークである Peppol の仕組みを日本国内で活用する動きが進み、複数の企業が対応を開始しています。こうした状況を受け、オプロは、「Peppol Connector by OPRO」を通じて、既存の Salesforce 請求データを最小限の業務変更で標準仕様に変換し、安全かつ効率的にデジタルインボイスを送信できる環境を整備しました。

主な機能

- 自社（売り手）および顧客（買い手）情報の登録・管理
- JP PINT 対応の請求データオブジェクト群とマッピング設定
- 既存請求データを JP PINT 形式に一括変換
- Peppol ルール準拠の検証機能と送信履歴管理
- Peppol ID の照合および発行支援
- Salesforce 上で完結する UI による非同期変換処理

Peppol とは

Peppol (Pan European Public Procurement Online) は、欧州で生まれた電子取引ネットワークの国際標準仕様で、請求書などの電子文書を安全かつ相互運用的に送受信するための仕組みです。各国の事業者は Peppol ID を取得し、認定されたアクセスポイントを経由してデータを交換します。

発表に対するコメント

株式会社オプロ 取締役 マーケティング本部 本部長の吉田順一は、次のように述べています。

「『Peppol Connector by OPRO』は、デジタルインボイスの国際標準である Peppol に対応し、Salesforce 上の請求業務を電子化できるようにしたものです。日本国内での Peppol 活用の広がりを支え、企業の業務効率化とコンプライアンス対応を両立できる環境を提供します」

株式会社セールスフォース・ジャパン 専務執行役員 アライアンス事業統括本部 統括本部長の浦野敦資は、次のように述べています。

「『Peppol Connector by OPRO』が AppExchange に追加されたことを歓迎します。JP PINT 準拠のデジタルインボイス送信機能により、お客様のビジネストラנסフォーメーションを加速させます。AppExchange は、お客様のビジネスニーズに合ったアプリケーションやエキスパートをお客様とつなぐために、常に進化し続けています」

Salesforce、AppExchange などは salesforce.com, inc.の商標です。

Salesforce AppExchange について

Salesforce AppExchange は世界をリードするエンタープライズクラウドマーケットプレイスで、企業、開発者、起業家がまったく新しい方法で構築、販売、成長できるよう支援します。2006 年のローンチ以降、8,000 件以上のパートナーのアプリケーションや認定コンサルタントの登録、1,300 万件の顧客導入を有する AppExchange は、業界や規模に関わらずビジネス上のあらゆる課題を解決するために、すぐにインストールし、カスタマイズ可能なアプリケーションや Salesforce 認定コンサルタントとお客様を結びつけます。

・ [LinkedIn](#) と [X](#) で Salesforce をフォローする

株式会社オプロ

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データオプティマイズソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。そして、真の顧客サクセスを実現すべく、サービスを更に進化させてまいります。

・ <https://corp.opro.net/>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先：<https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）